

各支部事務責任者様

三重県剣道連盟
会長 中森博文
(公印省略)

全国青年大会 予選会について

表記の件につきまして、下記の通り予選会を開催いたします。参加資格に制約はございますが、支部会員にご案内ください。多数の方のご参加をお願いいたします。

記

1. 期 日 令和7年9月7日(日)
開 場 12:15
受付・検量 12:20～12:50
開 会 式 13:00
2. 場 所 三重武道館
津市北河路町19-1 (059-223-4655)
3. 出場選手資格
 - 1) 1990(平成2)年4月2日以降2007(平成19)年4月1日までに出生した者。
 - 2) 三重県剣道連盟の登録会員であること。
 - 3) 地域で活動する青年を対象とする。
 - 4) 大学生の参加を2名以内まで認めるが、全日本学生剣道連盟に加盟する者は参加できない。
 - 5) 過去において、次に掲げる大会に出場した者は参加できない。
 - (ア) 国際大会ならびに全日本選手権大会・全日本女子選手権大会
 - (イ) 国民スポーツ大会(旧国民体育大会)剣道競技(少年の部の出場は除く)
 - (ウ) 全日本都道府県対抗優勝大会、女子優勝大会(高校生・大学生時の出場は除く)
 - (エ) 全国教職員大会
 - (オ) 全国警察官大会
4. 申し込み 申し込みは個人申込にてお願いします。申込書に必要事項をご記入の上、下記のいずれかの方法でお申し込みください。
 - 【申込方法】 郵 送： 514-0007
津市大谷町152大谷ハイム1-202
三重県剣道連盟宛
メール：sankenren@soleil.ocn.ne.jp
FAX： 059-229-7407
LINE： 申込用紙の『写メ』を事務局 玉置又は濱崎へ
 - 【締め切り】 令和7年8月26日(火) 必着
 - 【参 加 料】 参加料500円を当日受付にてお支払いください。
5. その他 ・申込のキャンセル、当日欠席、交通の遅延による遅刻等の連絡は必ず入れてください。(連絡先：濱崎 090-8738-1906)
・予選会終了後、稽古会を行います。

<第73回全国青年大会>

1) 期 日 令和7年11月8日(土) 9日(日)

2) 会 場 東京武道館

3) チーム

○男子団体(1チーム)・・・監督1名、選手5名(大將は30代の者とする。)

※監督は選手を兼ねることができる

○女子団体(1チーム)・・・監督1名、選手3名

※監督は選手を兼ねることができる。

○団体戦に出場した選手男女は、個人戦にも出場する。

4) その他

・監督会議が、令和7年11月7日(金)(時間未定)に、東京武道館にて行われます。

・選手は、本部が指定する開会式・交歓プログラム当の全体行事(詳細は後日)に参加するものとします。

・派遣費は、旅費のみとなります。また、宿泊については、手配、費用ともに自己負担となります。**なお予選会の参加人数によっては、派遣しない場合もあります。**ご了承ください。

※剣道用具の取り扱いについて

本大会要項(別紙)を参照し、遵守すること。竹刀検量を予選会でも実施します。

以上

令和 年 月 日

全国青年大会 予選会申込書

該当する出場区分に○をしてください。 所属（ ）支部

出場 区分	ふりがな 氏名	称号・段位	生年月日 (年令)	職 業
	住所		携帯番号(連絡先)	
男子 女子	〒	士 段	西暦 年 月 日	

※ご記入いただいた個人情報、大会に関する目的以外には使用いたしません。

8. 剣道用具の取り扱いについて

本大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下の通りとする。予選会も同様に扱うこととする。

- (1) 大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること（「12. 安全管理」参照）。
- (2) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会初日に、計量・検査を必ず受けること。
 - 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値及び先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表1、表2、表3および図の通りとする。
 - ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
 - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 剣道着については次の事項を遵守すること。
 - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。（構えたときに肘関節が隠れること）

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全 長)	重 さ	太 さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
男子	120 センチメートル以下	510 グラム以上	26 ミリメートル以上	21 ミリメートル以上
女子	120 センチメートル以下	440 グラム以上	25 ミリメートル以上	20 ミリメートル以上

表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ(男子)

	長さ (全 長)	重 さ	太 さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114 センチメートル以下	440 グラム以上	25 ミリメートル以上	20 ミリメートル以上
小刀	62 センチメートル以下	280～300 グラム	24 ミリメートル以上	19 ミリメートル以上

表3 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ(女子)

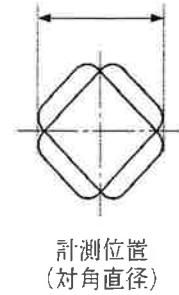
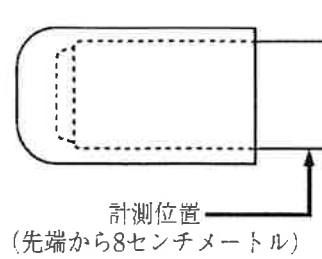
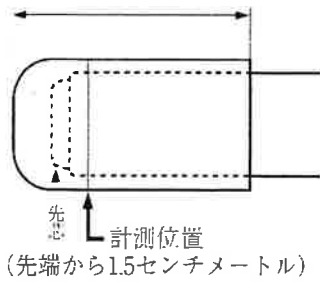
	長さ (全 長)	重 さ	太 さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114 センチメートル以下	400 グラム以上	24 ミリメートル以上	19 ミリメートル以上
小刀	62 センチメートル以下	250～280 グラム	24 ミリメートル以上	19 ミリメートル以上

図. 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

<ちくとうの最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



9. 試合運営上留意すべき事項

- (1) サポーターなどの使用は、医療上必要と認める場合に限り、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において、これを認める。ただし、届け出る必要はない。
- (2) 面紐の長さは結び目から約 40 cm 以内とする。